

「ここでしかできない」体験活動～「やってみたい」気持ちあふれるこどもたち～

7月28日（月）～7月30日（水）に九度山小学校の5年生14名が日高地方を訪れ、学校での学びを一層いかした体験活動を行いました。

1日目は由良町でシュノーケリング体験、漁師さんと交流をしました。ライフジャケットを着用した安全な海での遊び方や漁師さんの仕事について学びを深める機会となりました。実際に、漁具を持たせていただいたり、漁船に乗った経験はこどもたちの興味関心を高めたりしました。また、干物作り体験では多くの児童が初めてアジの魚を包丁で腹開きにしました。講師の方から生き物と刃物の向き合い方のお話を事前にいただき、丁寧に取り扱っていました。難しいところは助けていただきながら、すてきな交流の時間となりました。後日、干物にさせていただいたあと、こどもたちの手元にとどき、おいしくいただきます。



2日目の午後からは印南町・御坊市の民泊受入れ家庭にお世話になり、交流を深めました。どのご家庭も温かみあふれる気持ちでこどもたちを迎えてくださいました。夕飯づくりのお手伝いをしたり、川遊びやカードゲーム、流しそうめんなど、それぞれが民泊家庭さんとの関わりを深めました。

最終日、こどもたちは体験活動での学びや思い出を、体験プログラムを計画いただいた一般社団法人ゆめ倶楽部のみなさんや引率スタッフの前で発表しました。スタッフの方はこどもたちの感想に喜んでもらえる機会となりました。きめ細やかな体験プログラムの準備をいただいたたくさんの方への感謝の気持ちを持ち、この3日間は、先生方や同級生とともにつくりあげた一生の思い出となりました。



【九度山小学校児童の体験の振り返りより】

- ・民泊先でごはんを協力して作ったことが思い出です。
- ・クルージングでは船の速さや波の水しぶきを感じた。
- ・ビーチクリーンを初めてした。きれいな貝を拾って楽しかった。
- ・シュノーケリングで見たことない魚をみた。
- ・また、体験をしたい。